**甲状腺の手術後に患者窒息死　術後の対応ミス　名大病院**

5月24日 14時50分

[名古屋大学](http://www.asahi.com/topics/word/%E5%90%8D%E5%8F%A4%E5%B1%8B%E5%A4%A7%E5%AD%A6.html)病院（[名古屋市](http://www.asahi.com/topics/word/%E5%90%8D%E5%8F%A4%E5%B1%8B%E5%B8%82.html)[昭和区](http://www.asahi.com/topics/word/%E6%98%AD%E5%92%8C%E5%8C%BA.html)）は23日、[甲状腺がん](http://www.asahi.com/topics/word/%E7%94%B2%E7%8A%B6%E8%85%BA%E3%81%8C%E3%82%93.html)の手術翌日に患者が死亡する[医療事故](http://www.asahi.com/topics/word/%E5%8C%BB%E7%99%82%E4%BA%8B%E6%95%85.html)があったと発表した。過去にあった同様の死亡事故を受け、手術後の対応を定めた院内ガイドラインがあったが、徹底されていなかった。石黒直樹病院長は「組織として教訓が生かされていないのは全く情けなく、本当に申し訳ない」と陳謝した。

　[名大病院](http://www.asahi.com/topics/word/%E5%90%8D%E5%A4%A7%E7%97%85%E9%99%A2.html)によると、患者は[三重県](http://www.asahi.com/area/mie/)在住の20代男性。2015年7月に甲状腺を摘出し、右の頸部（けいぶ）リンパ節を取り除く手術を受けた。

　手術翌日の午前7時ごろ、患者の首に腫れがあると看護師から連絡を受け、執刀医とは別の[専門医](http://www.asahi.com/topics/word/%E5%B0%82%E9%96%80%E5%8C%BB.html)が診察。聴診や触診などで術後の浮腫と判断し、経過観察とした。その際、ガイドラインで挙げている[超音波検査](http://www.asahi.com/topics/word/%E8%B6%85%E9%9F%B3%E6%B3%A2%E6%A4%9C%E6%9F%BB.html)や、手術の傷口を一部開けて出血状態を確認するなどの対応をしなかった。

　患者はその約1時間50分後に[呼吸困難](http://www.asahi.com/topics/word/%E5%91%BC%E5%90%B8%E5%9B%B0%E9%9B%A3.html)を訴え、心肺停止。蘇生措置が行われたが死亡した。術後に首の内側で起こった出血で血腫ができ、気道が塞がれたことによる窒息が死因だった。出血部位は分からなかったという。

　[名大病院](http://www.asahi.com/topics/word/%E5%90%8D%E5%A4%A7%E7%97%85%E9%99%A2.html)では1983年と06年にも、首の手術後にできた血腫を見落とし患者が死亡。07年にガイドラインをまとめ、関連部署に閲覧を指示していた。しかし、担当科の医師の多くが専門外の医師向けのものと誤解し、読んでいなかったという。[名大病院](http://www.asahi.com/topics/word/%E5%90%8D%E5%A4%A7%E7%97%85%E9%99%A2.html)は、手術には問題なかったが、ガイドライン通りに対応していれば防げたとして、[医療事故](http://www.asahi.com/topics/word/%E5%8C%BB%E7%99%82%E4%BA%8B%E6%95%85.html)と結論づけた。

＜アピタル：ニュース・[フォーカス](http://www.asahi.com/topics/word/%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%82%B9.html)・その他＞

<http://www.asahi.com/apital/medicalnews/focus/>